

数学科

第1学年

1 以下の目標について、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価します。

1章 正の数・負の数	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある負の数のよさを認め、正の数と負の数を使うことの意味を理解し、興味・関心を持つ。 素因数分解を理解し、既習の計算方法を基に様々な問題を深く考えることができる。 正の数・負の数の四則についての計算に習熟し、いろいろな計算ができる。 日常生活の中にある正の数・負の数がでてくる場面で、その意味を知り活用できる。 数の集合の関係を四則計算の可能性と関連づけて理解する。
2章 文字の式	<ul style="list-style-type: none"> 数の代表としての文字に興味・関心を持ち、文字を活用しようとする。 具体的な数量を一般的な文字に置き換え文字を用いた計算方法を考えることができる。 文字を使っている計算ができる。 数量の関係や法則を式に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。
3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> 方程式を利用して、問題が解決できることを知り、その良さを認めることができる。 数量の大小関係を不等式で表すことができる。 等式の性質を利用することにより、移項や方程式の解を手際よく求める方法を見いだすことができる。 具体的な問題の数量関係を方程式で表すことができ、解くことができる。 方程式及び解の意味、方程式を解く手順を理解している。 比の値の意味を知り、簡単な比例式を解くことができる。
4章 変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> 2つの数量の間の関係を式やグラフに表すことの良さを認めている。 座標、比例、反比例のグラフを理解し、グラフを活用して、その変化の様子を調べることができる。 比例・反比例の関係を表、式、グラフ表現しその特徴をよみとることができる。 座標の意味や比例、反比例の式やグラフの特徴を理解している。 ともなって変わる2つの変数について y が x の関数であることの意味を理解する。
5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な図形とその作図について興味・関心を持ち、作図に進んで取り組もうとする。 具体的な作図を通して、対称な図形を考察し、作図の方法を考えることができる。 コンパスと定規を用いて、目的に応じた基本的な作図ができる。 基本的な作図の意味と方法、平面図形に関する用語と意味を理解している。 平面図形の3つの移動について知り、その性質を理解する。
6章 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 空間における点、直線、平面の相互の位置関係に興味・関心を持つ。 空間図形の性質や立体の計量方法を筋道立てて考えることができる。 基本的な図形の計量を数理的な処理で求めることができる。 空間における直線や平面の位置関係や図形の計量の仕方などを理解している。 立体を投影図に表現したり、投影図から立体を読み取ったりすることができる。 円やおうぎ形、立体の表面積や体積、球の表面積や体積を求めることができる。
7章 データの活用	<ul style="list-style-type: none"> 資料を度数分布表に整理し、相対度数、累積相対度数などの数値を用いて資料全体の傾向を調べることができる。 ヒストグラムや折れ線グラフをつくったり、相対度数を求めたり、2つの資料の分布を比べることができる。 様々な代表値の意味を知り、目的に応じて活用できる。 ことがらのおこりやすさを数で表したり、起こりやすさの傾向を読み取って判断をしたりすることができる。

2 評価方法

① 下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト（単元テスト、休み明けテスト）
- 授業のプリント、問題集等の提出物の内容（宿題を含む）
- 授業時の取り組み

② 観点別評価と各評価資料との関係

- 観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。
- ◎とても重視する ○重視する △参考にする場合がある

観点	配分	中間考査	期末考査	小テスト	提出物	授業の取り組み
知識・技能	100	◎	◎	◎	○	△
思考・判断・表現	100	◎	◎	○	○	△
主体的に学習に取り組む態度	100	○	○	△	◎	◎

【達成率】 A＝80％以上 B＝50％以上 C＝50％未満

【評 定】 5＝90％以上 4＝80％以上 3＝50％以上 2＝20％以上 1＝20％未満

数学科

第2学年

1. 以下の目標について、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価します。

1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 文字式の計算にも数の計算法則が成り立つことや、文字の計算のきまりに興味・関心を持つ。 文字式を利用した等式の変形や説明をすることができる。 多項式の加減や単項式の乗除などいくつかの文字を含む数式の四則計算ができる。 単項式、多項式、次数、同類項などの用語の意味を理解し活用できる。
2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決にあたって連立方程式のよさに気づき、興味・関心を持つ。 連立方程式は1つの文字を消去することにより1次方程式に帰着して解くことができる。 加減法や代入法を用いて連立方程式を解いたり、具体的な問題の数量関係を連立方程式で表すことができる。 連立方程式やその解の意味、加減法、代入法による解き方を理解できる。
3章 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数に興味・関心を持ち、式や表やグラフで表そうとする。 1次関数について表、式、グラフを活用して特徴を統合的にとらえることができる。 1次関数のグラフを書き、式を求める。また、変化の割合を求めることができる。 1次関数 $y = ax + b$ のグラフの傾き、切片の関係を理解している。
4章 図形の調べ方	<ul style="list-style-type: none"> 図形の基本性質に関心を持ち、これらを利用しようとして図形を考えようとしている。 具体的な作業で角を求めたり、筋道を立てて説明することができる。 図形の基本性質を利用し、角の大きさを求めたり、証明をすることができる。 図形に関する用語とその意味を理解している。
5章 図形の性質と証明	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件に興味を持ち、進んで調べようとする。 図形の性質を統合的、発展的にとらえ、互いに関連づけて考えることができる。 二等辺三角形や直角三角形の合同条件を用いることができる。 図形に関する性質の用語と意味、定義や定理を理解している。
6章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> 確率に興味を持ち、進んで調べたり、樹形図や表を利用して求めようとする。 場合の数の数え方について筋道立てて考えることができる。 樹形図や表を利用して、場合の数や確率を求めることができる。 場合の数や数学的確率を求める方法や意味を理解している。
7章 箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> 四分位数、四分位範囲などを用いてデータの傾向を把握し、それらを事象の考察に活用しようとする。 四分位数、四分位範囲、箱ひげ図などで表現し、複数のデータを批判的な視点をもって比較する見方や考え方を身に付けている。 四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図をかいたりすることができる。 四分位数や四分位範囲の必要性和意味、箱ひげ図で表すことのよさを理解している。

2. 評価方法

① 下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査（中間・期末）
- ・小テスト
- ・授業のプリント、問題集等の提出物の内容（宿題を含む）
- ・授業時の取り組み

② 観点別評価と各評価資料との関係

- ・観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。

◎とても重視する ○重視する △参考にする場合がある

観点	配分	中間考査	期末考査	小テスト	提出物	授業の取り組み
知識・技能	100	◎	◎	◎	○	△
思考・判断・表現	100	◎	◎	○	○	△
主体的に学習に取り組む態度	100	○	○	△	◎	◎

【達成率】 A=80%以上 B=50%以上 C=50%未満

【評 定】 5=90%以上 4=80%以上 3=50%以上 2=20%以上 1=20%未満

数学科

第3学年

1 以下の目標について、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価します。

1章 式の展開と 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> 分配法則を用いて、式の展開ができる。 分配法則や乗法公式をもとに、因数分解ができる。 式の展開や因数分解を利用して、数や図形の性質などを証明する問題を解決できる。 素数の意味を理解し、自然数の素因数分解ができる。
2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の意味、大小関係、近似値について理解する。 平方根の性質を使って、平方根の簡単な四則計算ができる。
3章 二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式とその解の意味を理解する。 いくつかある2次方程式の解法を理解し、それぞれの解き方を習得する。 2次方程式を利用して、いろいろな問題を解決することができる。 (・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。)
4章 関数 $y = a \times 2$	<ul style="list-style-type: none"> 2乗に比例する関数の意味を理解する。 関数 $y = a \times 2$ のグラフをかくことができ、その特徴について理解する。 日常の様々な事象の中に関数関係があることを理解する。
5章 図形と相似	<ul style="list-style-type: none"> 相似、相似の位置、相似の中心、相似な図形の性質について理解する。 三角形の相似条件を理解し、相似条件を使っていろいろな事柄を証明する。 比の性質を利用し、三角形と平行線、平行線と線分の長さの比について成り立つ定理を導き、それを活用することができる。 中点連結定理を理解し、活用することができる。
6章 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理、その逆を理解しそれを活用して問題を解くことができる。
7章 三平方の 定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理とその逆を理解し、それを活用して問題を解くことができる。 三平方の定理を、平面図形や空間図形における図形の計量に活用することができる。
8章 標本調査と データの活用	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の意味、その必要性を理解している。 簡単な場合について標本調査を行い母集団の傾向を説明することができる。

2 評価方法

① 下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査(中間・期末)
- 小テスト(単元テスト、休み明けテスト)
- 授業のプリント、問題集等の提出物の内容(宿題を含む)
- 授業時の取り組み

② 観点別評価と各評価資料との関係

- 観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。

◎とても重視する ○重視する △参考にする場合がある

観点	配分	中間考査	期末考査	小テスト	提出物	授業の 取り組み
知識・技能	100	◎	◎	◎	○	△
思考・判断・表現	100	◎	◎	○	○	△
主体的に学習に取り組む態度	100	○	○	△	◎	◎

【達成率】 A=80%以上 B=50%以上 C=50%未満

【評 定】 5=90%以上 4=80%以上 3=50%以上 2=20%以上 1=20%未満